

## 平成23年度 第3回 高石市都市計画審議会 議事録（要約）

【開催日時】 平成24年2月9日（木） 午後13時30分から開催

【開催場所】 高石市役所 別館3階 多目的ホール

【出席委員】 委員16名中11名の委員と2名の委員代理が出席され開催致しました。

日野 泰雄 下村 泰彦 土井 幸一 中井 正司  
出川 康二 清水 明治 古賀 秀敏 佐藤 一夫  
松本 定 東口 正一 高橋 妙子

(以上委員 11名)

榊本 浩 伊集院 敏彦 (以上委員代理 2名)

【欠席委員】 丑野 正仁 合田 房雄 舛谷 隆康

【傍聴者】 4名

【議 事】 諮問第1号 南部大阪都市計画用途地域の変更（案）（大阪府決定）  
付議第1号 南部大阪都市計画地区計画の決定（案）（高石市決定）  
報告第1号 高石市都市計画マスタープランの改定について  
報告第2号 都市計画提案書の提出について  
その他

【答申事項】 諮問及び付議に対しては、欠席者3名を除く委員13名の同意の上、原案のとおり認める答申がなされた。

【確認事項】 市長より、南部大阪都市計画用途地域の変更及び南部大阪都市計画地区計画の決定についての諮問及び付議書が提出された。

【質疑応答】

・「南部大阪都市計画用途地域の変更（案）（大阪府決定）」について

・「南部大阪都市計画地区計画の決定（案）（高石市決定）」について

（会 長）緑化を行うことによって、建ぺい率および容積率を緩和する措置であり、地区計画で定めている。諮問第1号および付議第1号に対し、原案のとおり認める答申で問題はないか。

（全員 異議無し）

・「高石市都市計画マスタープランの改定について」について

（会 長）地域防災計画の骨子がまとまったので、都市計画マスタープラン（案）にも反映しているということである。また、内容の詳細に関しての意見は、再度各委員へ事務局が伺いにいくということである。

（委 員）高砂公園を廃止し、蓮池公園等に機能移転すると記載されているが、どちらも当初から都市計画公園として位置づけられており、面積の観点から代替として位置づけられるのか。

（事務局）大阪府との協議により、公園機能等の代替が可能であるなら良いという見解を頂いている。

（委 員）代替が可能であるのならば、防災の観点から良いと考える。また、鴨公園に関しての記載で、防災機能の充実を図ると記載されていることも良いと考える。

（委 員）風致地区の区域では、規制により3階建ての建築物の建築が困難であり、個人での津波対策ができない。どのような対応を考えているのか。

（事務局）第一種低層住居専用地域では、10mの高さ制限の規制がある。第一種中高層住居専用地域程度の緩和を考えており、風致地区の見直しも考えている。

（委 員）風致地区については、防災の観点から高さ緩和は必要であると思うが、同時に景観の質を保存していくことを盛り込んで頂きたい。

（事務局）風致地区の見直しの際には、景観についても配慮した措置を考えたい。

（会 長）地区計画など方法はあると思うので、「景観に配慮する」といった記載の対応を頂きたい。

（委 員）高砂公園の廃止について、開設済の公園用地を廃止する時に同等分の面積を確保する必要がないかどうか、法的な面で確認を頂きたい。

（事務局）高砂公園の面積等の要件については、法的な面も含めて再度確認する。

（委 員）蓮池公園に機能を移設する場合においても、土地要件等で問題がないか確認して頂きたい。

（委 員）蓮池公園は、都市計画決定された公園であり、そこに機能を移設するというのはおかしいのではないか。高砂公園の替わりをどうするかの記事が必要ではないか。

（委 員）蓮池公園は、避難地としての機能もあるが、日常の公園利用や、その他の建

物を建てさせないための目的も兼ね備えているのではないか。

(委員) 公園機能は、より利用が図れる内陸に機能を移すことが望ましいと思われる。

また、高砂公園の売却により、蓮池公園等の整備も可能であるとする。

(会長) 機能や面積などの条件を踏まえ、市として蓮池公園の整備をどのように考えているのか。

(事務局) 具体的な内容については、今後の検討と考えている。

(委員) 地域防災計画の内容を反映して変更していると思うが、地域防災計画の内容を見ないで、この内容でよいかどうかは判断しかねる。

(会長) 地域防災計画のスケジュールはどのようになっているのか。

(事務局) 2月20日にとりまとめて市議会に提出予定である。

(会長) 地域防災計画の内容との整合と、本マスタープラン(案)のパブリックコメントの実施を行うということだが、スケジュールで示されている今年度中の策定は可能なのか。

(事務局) 可能です。

(会長) 防災に関連する鉄道や住宅の事業などで、具体的な方針などはどのようになっているのか。

(事務局) 防災対応型連続立体交差事業については、南海鉄道の高架は想定津波高以上の高さを確保できる計画となっている。また、避難用の階段の設置を検討頂く為の予算確保ができたと聞いている。防災対応型優良建築物整備事業は、補助事業として国に要望中である。これは避難ビルとして民間のマンション等で非常階段を広くするなどの対応により補助制度を設けようというものである。

・「都市計画提案書の提出について」について

(事務局) 本件については、「高石市まちづくり調整会議」が判断を行うこととなっており、本日は中間報告をさせて頂くのみであり、現段階でご意見を頂くのは控えさせて頂きたい。

【閉 会】 午後3時00分閉会

署 名 委 員 会 長

委 員

委 員